

町長コラム

温故創新



偶然を必然に トップセールスは足で稼ぐ

庄内町長 富樫 透



コロナ禍で、一時期は2便にまで減便になった庄内空港の利用者も順調に回復し、令和5年度は季節運航ながら10数年ぶりに5便運航が計画されています。5便化実現に向けて、利用拡大を確実に進めたいものです。

さて、空港や出張先で知り合いや関係者のみなさんにお会いすることや声をかけられることはよくありますが、先日の出張では、予期せず3人の庄内町関係者の方とお会いする驚きがありました。

都内の物販関係でお世話になっている新潟県の方は、息子の奥さんが余目地域出身、銀座のアンテナショップの職員の方は、お父さんが立川地域出身でした。そして、東京白金の役員の方からは、奥さんのおばあさんが庄内町出身と後日メールをいただきました。

そういえば以前にも、島根県で庄内町の関係者に偶然会ったり、熊本県で知り合いの先生の教え子と一緒にになったりと、不思議なこともありました。まさに親戚にでもあったような気分になり、会話もはずみ、信頼感も増します。

まちづくり活動などでは、「ネットワークはフットワークの足し算だ」という合言葉のもと、全国各地に行かせていただく機会もありました。しかし、ここ3年ほどは新型コロナウイルス感染症への対応で行動が制限されてきました。新年度はより多く活動が展開できるものと期待しています。

企業誘致や移住・定住、ふるさと納税、産業振興、観光、関係人口の増加などにむけて、「トップセールスは足で稼ぐ」を信条に、このような偶然が必然の成果につながるよう全国行脚したいと思います。何か情報がありましたら、みなさんからもご協力をお願いいたします。